

# 基礎調査票と評価シートの使い方

## 調査と記入の順序

### ① 基礎調査票を記入する

項目は全部で14項目あります。  
1ページに2項目ずつ掲載していますので、全部で7ページが基礎調査票です。

設問にあてはまる答えを1~5より選び、○をつけてください。答えにくいものは、とばしてかまいません。

### ② 合計点数を計算する

○をつけた数字の点数を合計します。

### ③ 平均点数を計算する

○をつけた質問の数で、合計点数を割り算して、平均点を出します（小数第2位を四捨五入）。

合計点数 ÷ 質問項目の数 = 平均点  
(○をつけた数)

### ④ 評価シートに記入する

実施日、子どもの年齢などを記入します。

③の平均点を25ページの表に転記します。

表の数字を記入して、完成させます。

そのほかに気づいたことや長所を文章で記入します。

基準のスケールは奇数ページの右上にあげてあります。

|             |          |
|-------------|----------|
| I-3 興味とこだわり | II-2 多動性 |
| II-3 行動性    |          |

各項目の説明と選択肢が記載されています。

評価シート

|       |    |
|-------|----|
| 実施日   | 年齢 |
| 評価結果  |    |
| 評価シート |    |

評価シートの構成と評価結果欄が示されています。

## 実施する人、とき

子どもをよく知っている大人が記入します。保護者、園の先生などが最適です。複数の人が相談して記入し、多面的に検討することもできます。

1回だけでなく、子どもの成長にともなって適宜実施してかまいません。対応の効果を見るため、何度か実施し、比較することもできます。

## 結果が気になるとき

医療機関を受診したほうがよいでしょう。発達障害以外の原因が隠れていることもあるので、たとえば以下のような検査をすることもあります。

- ①心理検査（発達検査、知能検査など）
- ②視覚検査、聴覚検査など
- ③脳に損傷や疾患がないか脳の検査

# 評価シートの解説と見方

## 調査項目を大きく4つに分類

発達障害の傾向を見るため、その障害の特徴に合わせ、設問も4つの分野に分けています。

### IV 発達障害に関係のある項目を見ます

IV-1は乱暴な言動など反抗挑発傾向を対象とした設問。IV-2は不安が強いなど発達障害に併発することの多い症状。IV-3は生活習慣が身につかないなど気になる症状

3以上になった項目は  
対応策が必要です

2~3はグレーゾーンで、  
要注意です

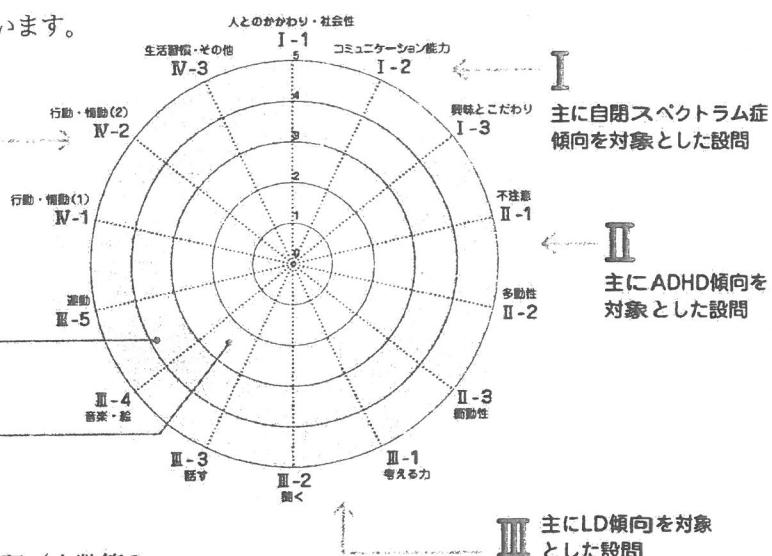
回答は5段階方式です。平均点表記（小数第2位を四捨五入し、第1位まで）としました。また、専門機関への紹介が必要か否かの見極めには、今後多数の例を用いて基準値を決めていくことが必要と考えています。参考までに、現在までに調査した約200名の発達障害の可能性がなさそうな子どもの各項目の平均点は、すべて1.2~1.6点の間に位置しています。

## 行動や性格特性を見る

実例からもわかりますが、子どもはさまざまな特性を複合的にもっているのが普通です。すでに医療機関で診断されている子でも、調査票の結果をシートに移してみると、その特性が障害名から考えられる項目だけではないことがわかります。

誰もがもっている行動や性格特性が、どのくらいの強さで現れているのかを把握して、その子への支援を考えていこうえでの、判断の目安としてください。

評価シートの気になる項目と基礎調査票の数値の高い設問を比較すると、より正確に状況が把握できます。



## ふだんから子どもをよく見よう



ふだんから子どもの  
ようすを見ていないと、シートを記入するためだけの観察になってしま

5WHの視点をもつ  
いつ When  
どこで Where  
だれと Who  
なにを What  
なぜ Why  
どんなふうに How

上記6つの視点をはずさず、ふだんから子どもの言動を見て、記入します。記入は1回すれば終わりというものではありません。子どもの成長に合わせ、折にふれて記入してみましょう。変化や発達の過程がわかります。

著者名（黒澤礼子）、書名『新版 幼児期の発達障害に気づいて・育てる完全ガイド』、

発行所 株式会社講談社、出版年 2019年9月3日、該当ページ P16~P25、(ISBN) 978-4-06-517117-2

記入用

# 診断シート

| 項目              | 平均点 |
|-----------------|-----|
| I-1 対人関係・社会性    |     |
| I-2 コミュニケーション能力 |     |
| I-3 興味とこだわり     |     |
| II-1 不注意        |     |
| II-2 多動性        |     |
| II-3 衝動性        |     |
| III-1 認知・推論     |     |
| III-2 聞く        |     |
| III-3 話す        |     |
| III-4 読む        |     |
| III-5 書く        |     |
| III-6 数・計算      |     |
| III-7 教科全般      |     |
| III-8 運動        |     |
| IV-1 行動・情動(1)   |     |
| IV-2 行動・情動(2)   |     |
| N-1 行動・情動(1)    |     |
| N-2 行動・情動(2)    |     |

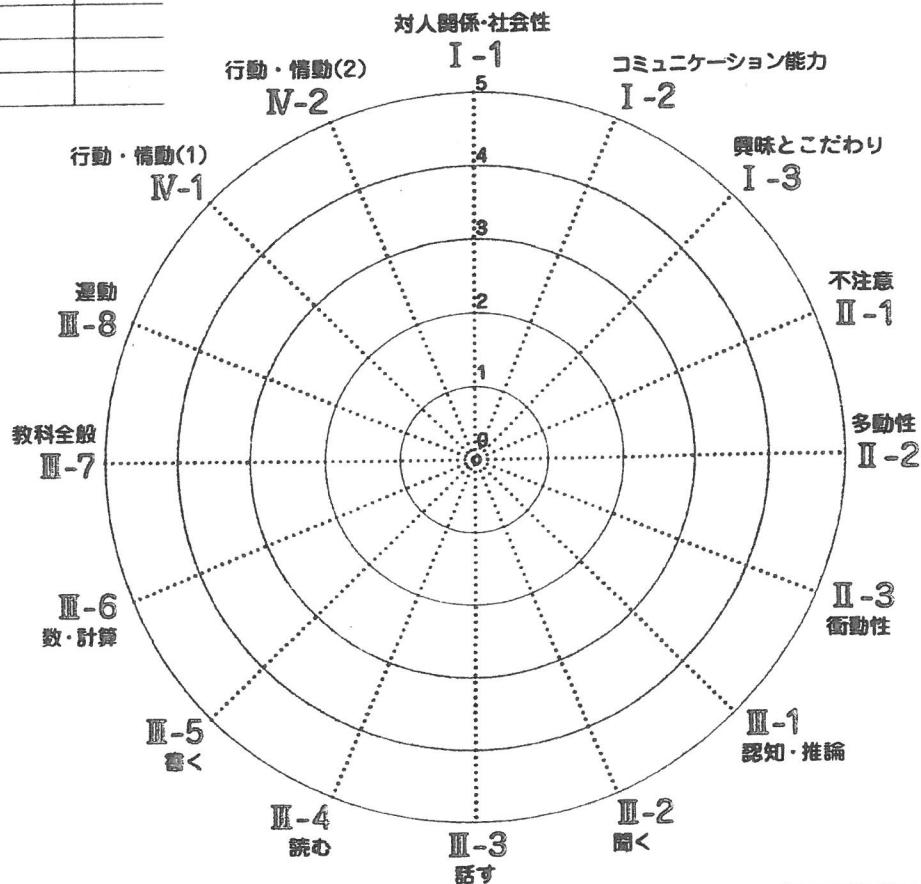
学校名 \_\_\_\_\_ 学校 \_\_\_\_\_

調査年月日 \_\_\_\_\_ 年 月 日

氏名 \_\_\_\_\_

性別 \_\_\_\_\_ 学年 \_\_\_\_\_

年齢 \_\_\_\_\_ 記入者 \_\_\_\_\_



|        |       |
|--------|-------|
| お問い合わせ | 提出    |
| _____  | _____ |
| _____  | _____ |
| _____  | _____ |

著者名 {黒澤礼子} , 書名『新版 発達障害に気づいて・育てる完全ガイド』,

出版社 株式会社講談社, 出版年 2018年 8月 7日, 該当ページ P18~P29, (ISBN) 978-4-06-512582-3



精神疾患  
調査票  
宣示

調査年月日 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

性別 \_\_\_\_\_ 学年 \_\_\_\_\_ 年齢 \_\_\_\_\_ 認入者 \_\_\_\_\_

## I-1 対人関係・社会性

- 1 人と話をするときなどに視線が合わない
- 2 感情や身振りなどで、意思を伝え合うことができない
- 3 仲良くなき気持ちはあるが友達とうまくかかわれない
- 4 興味や楽しみを他人と共有しようとしている
- 5 人の気持ちがわからないと感じられる
- 6 話しかけても相手に注意を向けない
- 7 周囲に関心を示さない
- 8 友達と協力したり助け合うことができない
- 9 常識が乏しい
- 10 友達といふりひとりでいることを好む
- 11 自己主張が強く協調性がない
- 12 美情が乏しい

| 合計    | 平均点   |
|-------|-------|
| _____ | _____ |

## I-2 コミュニケーション能力

- 1 話し言葉の遅れがあり、身振りなどにより構おうとしない
- 2 他人と会話を開始し維持する能力に明らかな困難性がある
- 3 同じ言葉をくり返したり、独特の言葉を使う
- 4 球技やゲームなどの友達と一緒にする遊びがうまくできない
- 5 自分の気持ちを言葉で表現することができない
- 6 会話が休み合わない
- 7 場の雰囲気や状況の判断ができず、小さくない言動をする
- 8 元氣いやみがわからず、言葉通りに受け止める
- 9 会話の方が形式的で、不自然な感じがする
- 10 相手が困惑するようなことも、配慮しないで言ってしまう

| 合計    | 平均点   |
|-------|-------|
| _____ | _____ |

## II-1 興味とこだわり

- 1ひとつ、またはいくつつかの興味に異常なほど熱中する
- 2自分なりの習慣や手順にこだわりがある
- 3手をねじまげるなどの、意味のなさそうな運動をしばしばくり返す
- 4いつも特定のもの（船模型や服の袖など）を触ったり、かんだりする
- 5同じ質問を何度もくり返す
- 6車や虫、魚など限られた分野の知識が豊富である
- 7食べ物や衣服などに極端なこだわりがある
- 8音や光、臭いなどに過敏である
- 9急な予定変更にうまく対応できない
- 10本人の予想に反した結果や状況になると混乱する

| 合計    | 平均点   |
|-------|-------|
| _____ | _____ |

## II-1 不注意

- 1細かく注意を払えなかつたり、不注意によるミスが多い
- 2問題や遊びで、注意を拘泥させることができない
- 3自分に言われたことを聞いていないようにはみえる
- 4指示に従えず、やるべき仕事をきちんとやり遂げられない
- 5問題や活動を順序立てておこなうことが苦手である
- 6勉強など気持ちを集中させて努力を必要とするのをよくす
- 7勉強道具など学習や活動に必要なものをなくす
- 8外部からの刺激にすぐ注意がそれてしまう
- 9日常の活動で、忘れることが多い
- 10やることが難である
- 11運転が多いなど、時間通りに行動できない
- 12整理整頓が苦手で、きちんと片づけができない

| 合計    | 平均点   |
|-------|-------|
| _____ | _____ |

著者名「黒澤丸子」、書名「新版 発達障害に気ついで・育てる完全ガイド」、

出版社 株式会社講談社、出版年 2018年8月7日、該当ページ P18~P29、(ISBN) 978-4-06-512582-3

## III-2 多動性

- 1 座っていても、手足や体をモソモソさせる
- 2 握拳など座っていなければならぬとき、席を離れる
- 3 きちんとすべきときに、余計に走り回ったり、よじ登ったりする
- 4 前かに遙んだり余闇活動をおこなうことができない
- 5 常にじっとしない、またはなにかに黙り立たられるようにならぬ
- 6 おしゃべりしそうする
- 7 骨かにしなければいけないときに、騒いだりはしゃいだりする
- 8 じっと立っているなど、同じ姿勢を長く保つことができない

| 合計        | 平均点       |
|-----------|-----------|
| 1 2 3 4 5 | 1 2 3 4 5 |

## II-3 衝動性

- 1 質問が終わらないうちに出し抜けに答えててしまう
- 2 順番を待つことが苦手である
- 3 他人がしていることのしやまをする（会話をゲームに割り込む）
- 4 がまんすることが苦手である
- 5 友達とのトラブルが多い
- 6 衝動的、突然的な行動がみられる
- 7 人によくちよっかいを出す
- 8 新しい環境や刺激の多い環境に入ると、落ち着かない
- 9 自分勝手な行動が多い
- 10 決まりを守ることができない

| 合計        | 平均点       |
|-----------|-----------|
| 1 2 3 4 5 | 1 2 3 4 5 |

## III-1 認知・推論

- 1 程度やニュアンスを表す言葉の理解が困難である
- 2 文字などを正しく覚えられない、覚えててもすぐ忘れる
- 3 学年相応の長さや量の比較や、単位を理解することが難しい  
(15 cmは150㍉、1kgは1000gなど)
- 4 学年相応の图形を描くことが難しい  
(图形の複写、見取図や展開図など)
- 5 ものとの因果関係を理解することができない
- 6 目的に沿って行動を計画し、必要に応じてそれを修正することが難しい
- 7 早合点や飛躍した考え方をする
- 8 年齢相応の様子やゲームのルールが理解できない
- 9 もののことを組み立てて考えることができない
- 10 同時にいくつかの課題をすることができない

| 合計        | 平均点       |
|-----------|-----------|
| 1 2 3 4 5 | 1 2 3 4 5 |

## III-2 聞く

- 1 話の要点を正しく聞き取ることが苦手である
- 2 話し合うことが難しい（話の流れが理解できず、ついていけない）
- 3 聞き間違いがある（「らくだ」を「ただくだ」、「しち」を「いち」など）
- 4 同時にいくつかの指示を出すると、聞きもらしかかる
- 5 個別に言われると聞き取れるが、集団場面では難しい
- 6 指示を聞いて理解することができない
- 7 人の話を聞いていないように感じられる
- 8 聞いてもすぐ忘れる

| 合計        | 平均点       |
|-----------|-----------|
| 1 2 3 4 5 | 1 2 3 4 5 |

著者名【黒澤丸子】、書名『新版 児童障害に気づいて・育てる完全ガイド』、  
出版社 株式会社講談社、出版年 2018年8月7日、該当ページ P18~P29、(ISBN) 978-4-06-512582-3

### III-4 読む

- 1 話すときに音の誤りなどがある  
〔「さかな」を、「たかな」、「おとこのこ」を「おとののこ」など〕
- 2 声のトーンや抑揚が不自然である
- 3 適切な速さで話すことが難しい  
(たどたどしく話す、とても早口である)
- 4 言葉につまりする
- 5 単語を羅列したり、短い文で内容的に乏しい話をする
- 6 思いつくままに話すなど、筋道の通った話をすることが難しい
- 7 なにを言っているのか、わからぬことがある
- 8 一方的に自分の話したいだけを話す

|    |     |
|----|-----|
| 合計 | 平均点 |
|----|-----|

### III-5 書く

- 1 話すときに音の誤りなどがある  
〔「さかな」を、「たかな」、「おとこのこ」を「おとののこ」など〕
- 2 文字を書くとき、助詞を抜かしたり、促音、拗音の間違いが多い
- 3 錯字を正しく書けない
- 4 短い文量は書けない、作文、日記が苦手である
- 5 字の大きさが不適切に大きい。あるいは小さい
- 6 難読が強い、あるいは弱くて字が読みにくい
- 7 乱雑な誤みにくく字を書く
- 8 特徴の筆順で書く

|    |     |
|----|-----|
| 合計 | 平均点 |
|----|-----|

### III-6 数・計算

- 1 年相応の数の意味や表し方についての理解が難しい  
(三百五を3005と書く、小数、分数の意味や大小がわからぬなど)
- 2 物をまとめて数えることが苦手である(5こずつ10こずつなど)
- 3 かんたんな計算が暗算できぬ
- 4 計算をするにとても時間かかる
- 5 学年相応の計算が苦手である(繰り上がり、繰り下がりなど)
- 6 学年相応の計算式の意味が理解できない(かけ算、わり算、分数式など)
- 7 学年相応の文言問題を解くのが難しい
- 8 2つ以上の式を必要とするような複雑な問題を解くことが難しい

|    |     |
|----|-----|
| 合計 | 平均点 |
|----|-----|

著者名〔黒澤礼子〕、書名『新版 発達障害に気づいて・育てる完全ガイド』、

出版社 株式会社講談社、出版年 2018年8月7日、該当ページ P18~P29、(ISBN) 978-4-06-512582-3

### III-7 教科全般

- 1 歌を歌うことが苦手である
- 2 楽器の演奏がうまくできない
- 3 絵画が強く、色使いも少ない
- 4 工作が苦手である
- 5 国語の基礎的能力にいちじるしい遅れがある
- 6 算数の基礎的能力にいちじるしい遅れがある
- 7 得意な教科で苦手な教科でひどくばらつきがある
- 8 全体的にいちじるしく学習が困難である

|    |     |
|----|-----|
| 合計 | 平均点 |
|----|-----|

### IV-1 行動・情動(1)

- 1 感うようにおならないと泣きわめいたり墨れたりする
- 2 反抗的で、先生や親に口答えをする
- 3 感情にむらがあり、ちょつとしたことで急に怒ったりする
- 4 嫌いなことや苦手なことをやらせようとすると激しく反対する
- 5 気に入らないと、罵言を吐いたり鳴したりする
- 6 気に入らないと、物を投げたりこわしたり、乱暴なふるまいをする
- 7 家族や友達に暴力をふるうことがある
- 8 わがままで自己中心的である

|    |     |
|----|-----|
| 合計 | 平均点 |
|----|-----|

### III-8 運動

- 1 川先立ちや片足立ちがうまくできない
- 2 走ったり跳んだりするとき、手足の動きが不自然である  
(動きがギクシャクあるいはダニヤダニやする)
- 3 全身を使った運動が苦手である。(ボール運動、跳躍び、跳躍など)
- 4 手先の不器用さが目立つ(ボタンのかけ外し、ひも結びなど)
- 5 動作がひじょうに緩慢である
- 6 バランスが悪く、ころびやすい
- 7 リズムをとることが苦手である
- 8 体育が苦手である

|    |     |
|----|-----|
| 合計 | 平均点 |
|----|-----|

### IV-2 行動・情動(2)

- 1 年齢のわりに幼い行動をする
- 2 チックのような症状がみられる  
(頭をしかめる、首を振る、声を出すなど)
- 3 自分の体を觸つけるなどの自虐行為がみられる  
(たたく、かむ、髪を抜くなど)
- 4 全体に無気力で動作が鈍く、ぼーっとしている
- 5 ひきこもって人とのかかわりをもととうしない
- 6 学校に行くのをひどく嫌がる
- 7ひとり言を言う
- 8 景面に興味なく奇遇を察したり、のどを鳴らしたりする
- 9 くり返し手を洗うなど、同じ行為を何度もおこなう  
(鏡・時間の確認をするなど)
- 10 空飛な言動をする

|    |     |
|----|-----|
| 合計 | 平均点 |
|----|-----|

著者名 [黒澤礼子]、書名「新版 発達障害に気づいて・育てる完全ガイド」、

出版社 株式会社講談社、出版年 2018年8月7日、該当ページ P18～P29、(ISBN) 978-4-06-512582-3